

むらづくり役場

住民自治組織 中津江振興協議会 《第21版》 2023.8.15 ☎ 54-3200

欠かせない生活の足



平成13年に運行開始した津江デマンドバス。利用者は年々減少傾向にあります。重要な移動手段として、中津江での暮らしには欠かせない公共交通です。
今回は、小国町線の運行について、利用者の声も含めてお知らせします。

小国行の便が走り始めたのは、平成29年10月。現在は中津江発と小国発で1日2便ずつ、事前予約で平日のみ運行。小国老健と、ゆうステーションを小国での乗降場所としています。

主に小国高校行きの学生や、小国の病院への通院、スーパーでの買い物などで利用されているようです。

「もう10回以上は乗りよるばい。無いと困るねえ」と一様にとても助かっているとの話とともに、「便数が少ないので帰りはタクシーを利用しなければならぬ」とか、「小国で自由に乗り降りできると助かる」などの声も聞かれました。



○小国町線(片道500円)

*平日のみ運行

- 栃原発 -	- 小国発 -
① 7:45	① 11:45
② 11:00	② 13:00

4年ぶりに復活!

老松様の餅つき祭

令和五年七月十五日



天福元(1232)年に盗賊征伐の

戦勝祈願に始まったとされる、宮園神社の餅つき祭。大分県の選択指定無形民俗文化財に指定される、夏の奇祭です。コロナ禍で4年ぶりの開催となった今年は、小学生2人を加え総勢21人の参加があり、保育園児の応援も花を添えてくれました。

祭の最後は盗賊征伐時の戦の様子を現す「あばれ搦ぎ」を披露。カヤや力水が搦ぎ手にかげられる中、一心不乱に杵を振る姿は勇壮そのものです。人口減少により、搦ぎ手も不足しています。来年は、あなたも790年続く伝統の一員になりませんか。



建設進む!

新高齢者福祉施設(愛称案)

『長寿苑』

新認定こども園(名称案)

『つえっ子こども園』

池の山で来年4月に開設が予定されている市の公共福祉施設の建設工事が順調に行われています。

皆さんに新施設の名称を募集していただきましたが、高齢者施設・こども園ともに40件程度の応募があり、今月号の振興局だよりに掲載している通り新施設名称の候補案が決定しました。高齢者施設ではデイサービス部門や居住部門などでの福祉事業が行われ、こども園では上津江・中津江のちびっ子達が遊び、併設する多目的室は様々な行事の開催場所のほか、非常時には避難所としても利用が可能となる賑やかな複合施設となりそうです。



令和6年4月 開設予定!



九重の職場に1時間かけて通勤する雄大さん。地域の人が協力的なのが中津江の良さだと感じているそうで、元々地域の為に役立ちたい気持ちがり、イベントの準備や片付けも楽しめているとのこと。興味は洋服やアクセサリなどファッション系で、休みの日は大分の友達の所に出かけたり、夜はYouTubeを観るなどして過ごしています。高校で一番の思い出はフェンシング部での全国大会出場との事。ご両親について「職場や地域に居ないと困る存在で誇らしく思います」と話す雄大さん。今後も中津江の為に頑張ってください。



永瀬雄大(かつひろ)さん
(宮園)27歳 平成8年生まれ

地域のお宝！
今月の若え〜し…

地域のお宝！
今月のご長寿さん…



鷹野茂樹さん
(川辺)92歳
昭和6年生まれ

最近では外での散歩は控えて、家の中で運動している茂樹さん。小学校が家の前だったことから「学校ん前のシゲちゃん」と呼ばれていたそうです。小学6年で高校の試験を受け、見事に合格し飛び級で日田高に入学。都合で学校をやめた後は、30年間養鶏場を経営。その後17年間、新聞販売店を始め、昼間は畑仕事、夜は新聞の折り込みと忙しく働いたそうですが、錦鯉が好きで多い時は20匹ほど飼っていたとか。奥さんとの旅行の思い出を笑顔で振り返る茂樹さんが、一番楽しかったのは忙しかった新聞販売店の時。健康の秘訣は何でも食べて、焼酎をちょこっと飲むことらしいです。

各部会のイチ押し事業を紹介するコーナー、2回目は「くらす部会」です。

“住む人の声を形にする”をテーマに、高齢者訪問活動や生きがいづくりとしての野菜集出荷事業への関わりなど、日々の暮らしについての取り組みを行っています。

今年度は、社会福祉協議会や包括支援センターなどの関係機関と連携しながら、生活に関するアンケートの実施も検討中です。

部会のイチオシ！②

◆独居高齢者誕生日訪問

80歳以上の独居高齢者宅へ誕生日にメッセージカードを持参し訪問しています。声かけによる暮らしの現状確認にもなり、大変喜ばれています。

◆認知症についての勉強会

まなぶ部会と協働で、認知症について学び、地域でサポートできるよう、見守る人たち向けの連続講座を計画中です。

◆移動手段の支援についての検討

地域の重要な公共交通であるデマンドバスの利用促進や免許返納後の移動支援などについて行政と情報交換を行っています。



くらす部会 部会長
鷹野恵祐さん

皆さんの暮らしに寄り添う活動ができればと、部会員で楽しく話し合っています。

つれづれ

～これがまあ終(つい)の栖(すみか)か雪五尺～うだるような暑さが続くのに、雪とは何事だとお叱りの声が聞こえそうだが…冒頭の句は小林一茶の名句である。2年前のこのコラムで娘の引越しを書いたが、なんとまあ先日、また新たな住家へ転居した。2年の間に更に1度引越しているの、通算8度目の転居となる。2年の間に猫が1匹増え、荷物も結構な量となっていた。ほぼ中津江に住み続けてきた私にしたら、アチコチに行けて羨ましい限り！？考え方や仕事、生活スタイルは人それぞれだが、いつかは知らない街でポーっと過ごしたいと、できもしない想像しながら“俺の終の棲家は波の音が聞こえる静かな丘の上が良いかなあ”、なんて独り言を聞き逃さず、「一茶は故郷に帰ってその句を詠んだんだからね！終の棲家が病院にならないように、せいぜい気をつけなさい！」と隣から。俳人にも精通してるとは…さあ飲もう [英]

楽しく学ぶ！交通安全

津江タクシーさんの協力により、下記の日程で、体験型の交通安全講習会が開催されます。運転中の様々な危険を体験できる「セーフティぶんご」での運転チェックや、落語より面白い？駐在所の藤原さんによる、タメになる交通安全の話聞くこともできます。どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください。

○ 日時：9月22日(金)お昼1時～

○ 場所：中津江むらづくり役場横

